

▼このメールは「九州農泊推進ネットワーク」に登録された方に送信しています。

☆1☆ とびっくす

★新型コロナウイルス感染症対策情報

1. 新型コロナの感染リスクが高まる「5つの場面」に気をつけましょう！

★九州農政局からの情報

1. 九州農業の取組事例集にトップランナー「南島原ひまわり村（長崎県南島原市）第2のふるさとで食の大切さを学ぶ～南島原市農林漁業体験民泊～」の取組の掲載について

★農林水産省からの情報

1. 農泊地域におけるワーケーション・マイクロツーリズムのプロモーション（第1弾）について
2. 令和2年度 農山漁村振興交付金（地域活性化対策）におけるアイデアソン「農村インポッシブル（NOUSON in "POSSIBLE"）」の開催日等の決定について
3. 農山漁村地域の起業に、チカラを！「INACOME（イナカム）」ビジネスコンテストの募集開始について

★他省庁からの情報

1. 「新たな旅のスタイル」に関する検討委員会について（観光庁）
2. まち・ひと・しごと創生会議（第23回）について（内閣官房・内閣府）

☆2☆ 農泊地域などからの情報及び取組紹介等

1. 長崎市の小さな港町・茂木に旧料亭を改修した宿泊施設「NAGASAKI SEASIDE HOTEL 月と海」が誕生（茂木まちホテルツーリズム協議会）



☆1☆ とびっくす



★新型コロナウイルス感染症対策情報

1. 新型コロナの感染リスクが高まる「5つの場面」に気をつけましょう！

政府は、新型コロナ分科会の提言を受け、短期間（3週間程度）に現在の感染状況を沈静化するためには、政府や自治体、更に一般の人々や事業所も含め、社会全体が共通の危機感を共有し、現在の状況に一丸となって対処することが重要と位置づけており、その際の注意すべき具体的なポイントは以下のとおりとなっています。

《5つの場面》

1. 飲酒を伴う懇親会等（大声での会話や回し飲み、箸などの共用）
2. 大人数や長時間の飲食
3. マスクなしでの会話
4. 狭い空間での共同生活
5. 居場所の切り替わり（休憩室や喫煙所、更衣室での感染リスク）

感染リスクを下げていくためには、飲食店をはじめとする日常生活や職場でのこれらの場面に特に気をつけていくことが重要です。

改めて、3密の回避、手洗い、マスク着用、換気、共用施設の消毒などの徹底をよろしくお願いします。

詳しくはこちらをご覧ください。

感染リスクが高まる「5つの場面」（内閣官房ホームページ）

⇒ <https://corona.go.jp/proposal/>

感染リスクが高まる「5つの場面」に注意しましょう（農林水産省ホームページ）

⇒ https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html#5scenes

★九州農政局からの情報

1. 九州農業の取組事例集にトップランナー「南島原ひまわり村（長崎県南島原市）第2のふるさとで食の大切さを学ぶ～南島原市農林漁業体験民泊～」の取組の掲載について

令和元年度「第4回食育活動表彰」教育関係者・事業者部門において農林水産大臣賞を受賞されました、長崎県南島原市の「南島原ひまわり村」をトップランナーとして掲載しています。

詳しくは、九州農政局ホームページをご覧ください。

⇒ <https://www.maff.go.jp/kyusyu/portal/toprunner/45-himawarimura.html>

★農林水産省からの情報

1. 農泊地域におけるワーケーション・マイクロツーリズムのプロモーション（第1弾）について（農泊推進対策（広域ネットワーク推進事業））

新たな旅のスタイルとして農泊地域におけるワーケーション・マイクロツーリズムの需要喚起を図ることを目的に、一般消費者に向けて訴求させることとしてプロモーションを進めています。

11月30日から事業実施主体の楽天トラベルのサイトに特設ページを設けて記事・動画コンテンツを紹介しています。

詳しくは、楽天トラベル特設ページをご覧ください。

⇒ <https://travel.rakuten.co.jp/movement/area/nohaku/>

2. 令和2年度 農山漁村振興交付金（地域活性化対策）におけるアイデアソン「農村インポッシブル（NOUSON in "POSSIBLE"）」の開催日等の決定について

農林水産省の補助事業である農山漁村振興交付金（地域活性化対策）を活用し、蒜山SDGs農村ツーリズム協議会（岡山県真庭市）、北川村地域活性化協議会（高知県北川村）及び大崎上島町地域活性化協議会（広島県大崎上島町）が、一般社団法人INSPIREと共催で、農山漁村の地域課題を解決するための試みとして、アイデアソン「農村インポッシブル（NOUSON in "POSSIBLE"）」を実施します。その開催日等が決定しましたので、お知らせします。

詳しくは、農林水産省ホームページをご覧ください。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/201202.html>

3. 農山漁村地域の起業に、チカラを！～「INACOME（イナカム）」ビジネスコンテストの募集開始～について

農山漁村地域が活力を取り戻し、持続的な発展を実現するためには、何よりもまず、雇用と所得を生み出すことが重要です。
また、地域には魅力的な資源が豊富にあり、これを活用した多様なビジネスを起こすチャンスに溢れています。
このため、農林水産省では、豊かな資源とやる気溢れる人材、そして必要な資金を組み合わせることで新たなビジネスが生まれ、農山漁村の価値を高めることができると考え、地域活性化に向けた起業支援「INACOME（イナカム）」を実施しており、その一環として、地域資源を活用したビジネスを対象としたピッチコンテストを開催します。
なお、今回はテーマ別開催とし、「一次産業の関係人口拡大・担い手対策」、「地域資源活用型商品・サービス開発」、「フリーテーマ」の3つのテーマに沿ったビジネスプランを募集します。

詳しくは、農林水産省ホームページをご覧ください。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo01/201127.html>

★他省庁からの情報

1. 「新たな旅のスタイル」に関する検討委員会について（観光庁）

観光庁は、「新たな旅のスタイル」の普及に向けた取組の方向性や具体的な取組内容について検討を行うとともに、関係者間の情報共有を図るため、有識者、関係省庁、経済界、観光関連業界等による検討委員会（第1回）を令和2年10月23日に開催しました。

詳しくは、観光庁ホームページをご覧ください。

⇒ https://www.mlit.go.jp/kankocho/category01_000111.html

2. まち・ひと・しごと創生会議（第23回）について（内閣官房・内閣府）

内閣官房・内閣府では、まち・ひと・しごと創生本部の下、人口急減・超高齢化への対応及び各地域の特徴を活かした自律的で持続的な社会の創生に関する重要事項を調査審議するため、まち・ひと・しごと創生会議を開催しています。
令和2年12月2日にまち・ひと・しごと創生会議（第23回）を開催しました。

詳しくは、まち・ひと・しごと創生本部のホームページをご覧ください。

⇒ <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/meeting/souseikaigi/r02-12-02.html>

◆◆◆◆◆ ☆2☆ 農泊地域などからの情報及び取組紹介等 ◆◆◆◆◆

1. 長崎市の小さな港町・茂木に旧料亭を改修した宿泊施設「NAGASAKI SEASIDE HOTEL 月と海」が誕生（茂木まちホテルツーリズム協議会）

長崎市茂木町エリアの観光活性化を目的として設立した株式会社ここから長崎（代表取締役社長 大島徹也）は、旧料亭を改修して「NAGASAKI SEASIDE HOTEL 月と海」（客室数14室）を建築しました。

「泊食分離」のスタイルでサービスを再構築するなど、様々な工夫を凝らして、地域での滞在や消費を促し、宿泊施設の生産性を地域全体で向上させるような取組を取り入れていま

す。
今後、株式会社ここから長崎では、長崎市茂木町の空き家活用を通じて持続可能な地域作りを目指します。

詳しくは、「NAGASAKI SEASIDE HOTEL 月と海」ホームページをご覧ください。
⇒ <https://tsuki-to-umi.com/>

◇◇編集後記◇◇

朝、布団からなかなか出られない今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。
今回、メールマガジン「農泊ネット九州」の第3号を発行しました。
まずは、新型コロナウイルス感染症対策情報を掲載しましたので、改めて、3密の回避、手洗い、マスク着用、換気、共用施設の消毒などの徹底をよろしくお願いします。
また、第3号では、農泊地域におけるワーケーション・マイクロツーリズムのプロモーション（第1弾）を紹介しています。参考になるページですので、ぜひご覧ください！
10月以降、各農泊地域へ出向いています。
ある農泊地域では、新たなサイクリングコースの造成を検討しているとのことで、里山や紅葉の様子を見ながらコースを案内いただき、道中、名前の付いていない滝や高台から眺める景色はすばらしいものがありました。
また、現在、古民家を改修中で、今後宿泊施設として開業予定とのことでした。
コロナ禍で模索しながらも新たに取り組もうとする姿勢を目の当たりして心強く感じたところでした！
農泊地域や各関係機関でイベントなどの取組がありましたらメールマガジンで紹介しますので、ぜひ情報提供をお願いします！

○ 農泊ネット九州に関するご質問やご意見・ご要望は、下記までご連絡をお願いします。
⇒ kyusyu_nohaku_net@maff.go.jp

.....
農林水産省 九州農政局 農村振興部 農村計画課（就業改善班）
〒860-8527 熊本市西区春日2丁目10番1号（熊本地方合同庁舎A棟）
TEL：096-211-9111（内線：4615、4628）
FAX：096-211-9812
=====